

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2023年 第45週（11月6日～11月12日）

＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2人 類型 患者 1人、 無症状病原体保有者 1人 血清型 O157 1人、O不明 1人
四類感染症 コクシジオイデス症	1人 推定感染地域 アメリカ合衆国
デング熱	1人 推定感染地域 インド
レジオネラ症	1人 病型 肺炎型
五類感染症 アメーバ赤痢	2人 病型 腸管アメーバ症 2人
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp.
急性脳炎	1人 病原体 不明
クロイツフェルト・ヤコブ病	1人 病型 孤発性
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6人 血清群 A群 5人、不明 1人
後天性免疫不全症候群	2人 病型 無症状病原体保有者 2人
侵襲性肺炎球菌感染症	2人
水痘（入院例）	1人 病型 臨床診断例
梅毒	12人 病型 早期顕症Ⅰ期 5人、 早期顕症Ⅱ期 5人、 無症状病原体保有者 2人
百日咳	2人 年齢階級 10歳代 1人、20歳代 1人

＜新型コロナウイルス感染症発生状況＞

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数(2.31→1.64:図1)は、前週と比較して減少した。基幹定点における入院患者の報告は27人(前週19人)であった。

＜定点把握対象疾患の患者情報＞

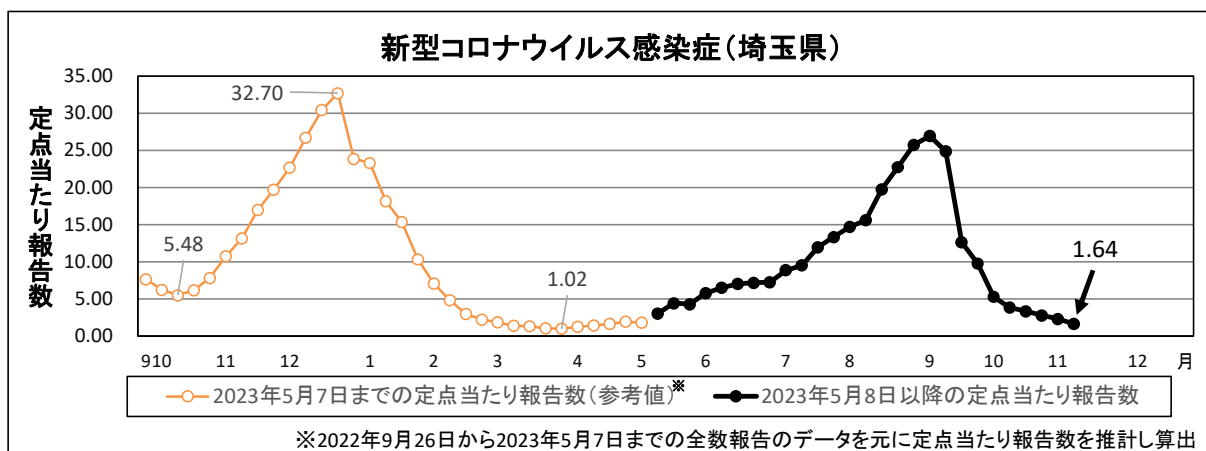
インフルエンザ(34.84→22.31:図2-1～4)の定点当たり報告数は、前週より減少したが、依然として多い状況が続いている。保健所別では、春日部(34.10)、幸手(32.93)、鴻巣(32.37)、東松山(31.13)の4保健所管内で定点当たり30.0を超えている。年齢階級別では、5～9歳の報告が多い。咽頭結膜熱(2.68→3.80:図3-1～2)の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加した。警報レベル開始基準値である3.0を上回ったのは、1999年の感染症法施行以降、初めてである。保健所別では、秩父(1.33→6.00)、南部(3.20→6.60)保健所管内で大きく増加し、川口市(8.92)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、2～5歳の報告が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(4.88→4.97:図4-1～2)の定点当たり報告数は、前週と同水準で、例年同時期と比較すると多い状況が続いている。保健所別では、南部(12.60)、川口市(10.00)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎35人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎1人、インフルエンザ(入院)(図2-4)7人(前週21人)の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第45週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第45週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

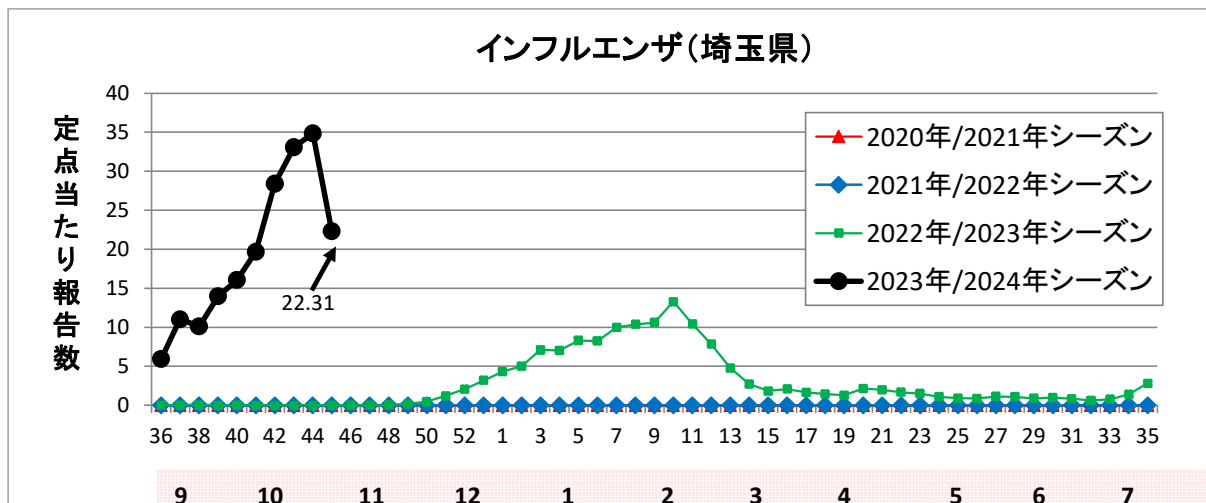


図2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移（第43週～第45週）

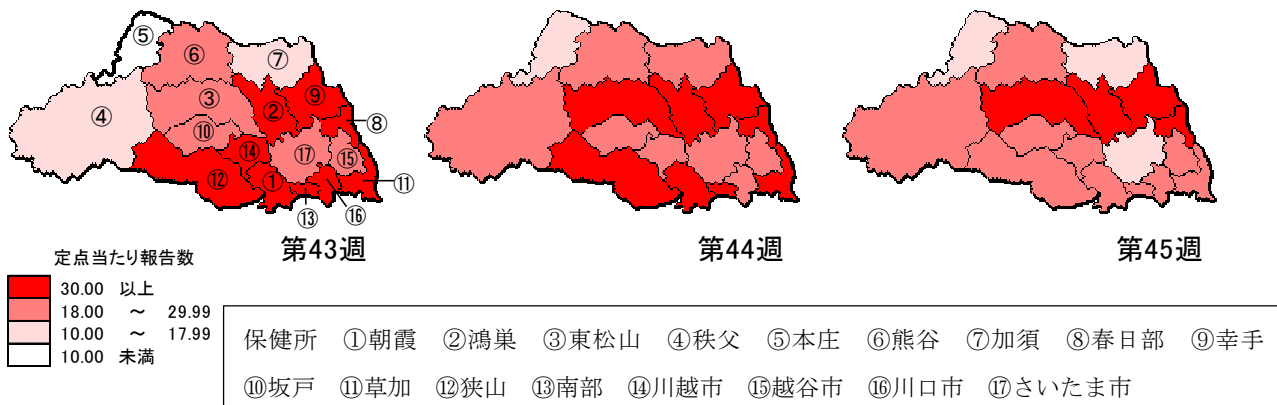
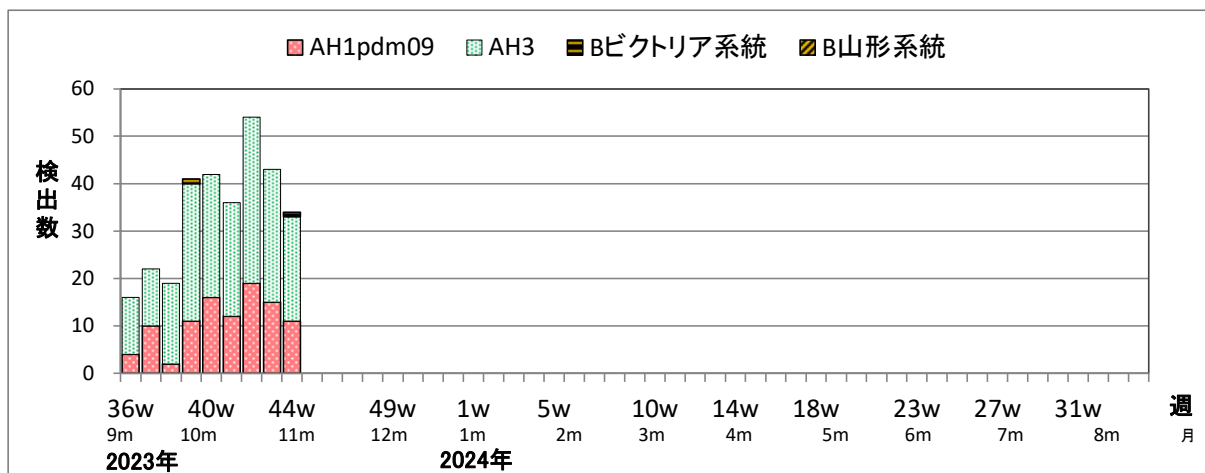


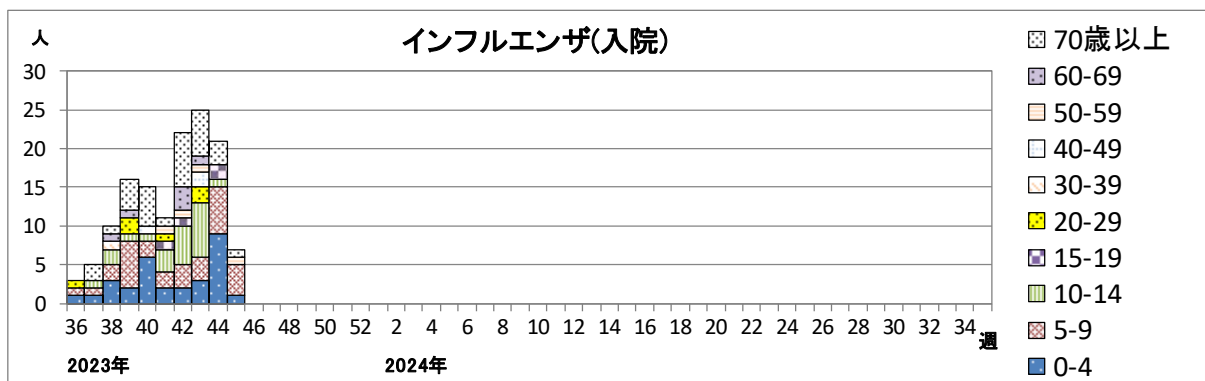
図 2-3 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2023年第42週～第44週（2023年10月16日～11月5日）の3週間に採取されたインフルエンザ検体のうちウイルスの型別が終了した131検体は、AH3型が85検体(64.9%)、AH1pdm09型が45件(34.4%)、B型（ビクトリア系統）が1件（0.76%）でした。

詳細なウイルスの検出状況は、<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

図 2-4 インフルエンザ（入院）の年齢階級別報告数



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 咽頭結膜熱の定点当たり報告数の推移

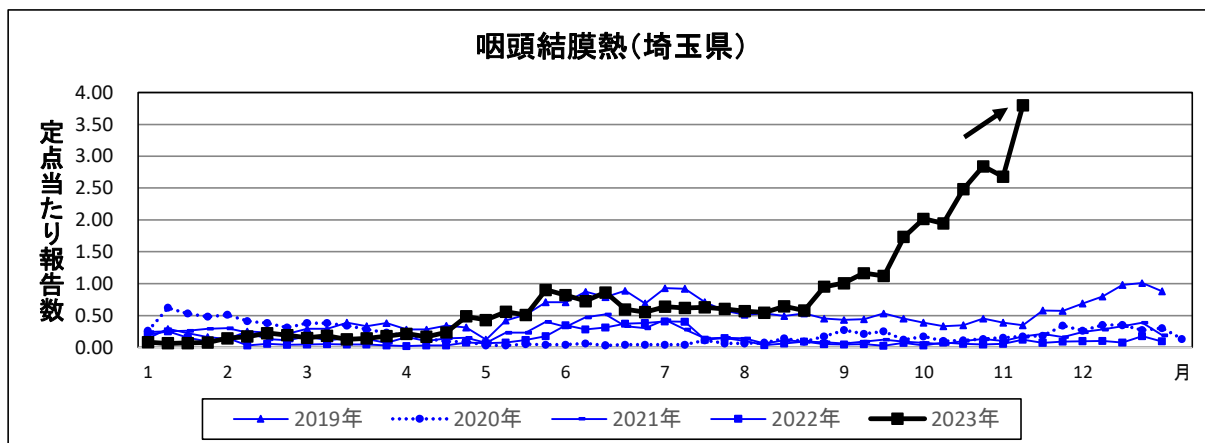


図 3-2 咽頭結膜熱の保健所別流行状況の推移 (第 43 週～第 45 週)

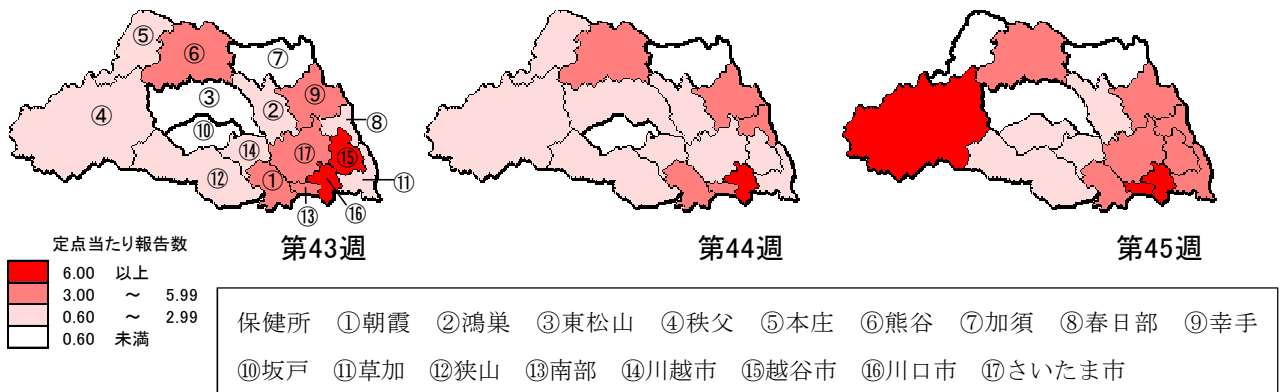


図 4-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

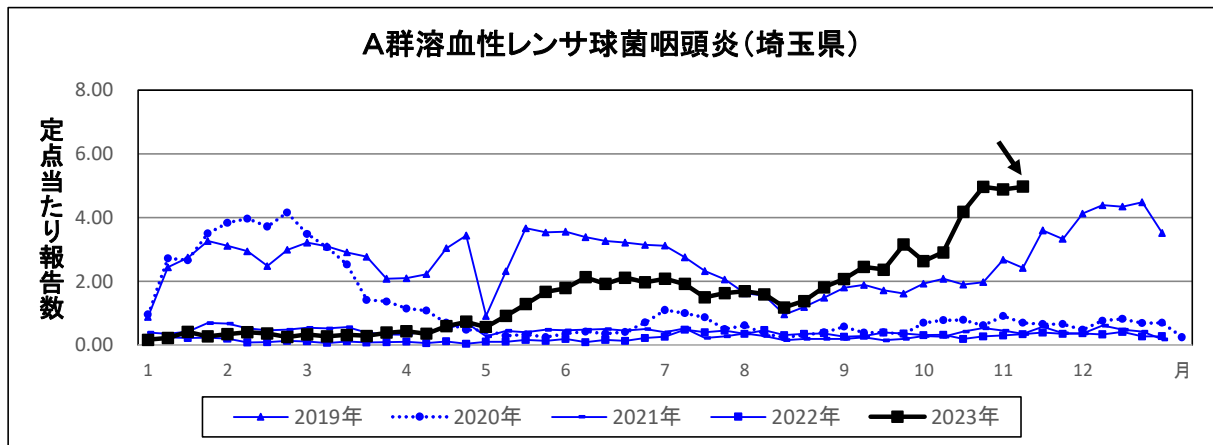
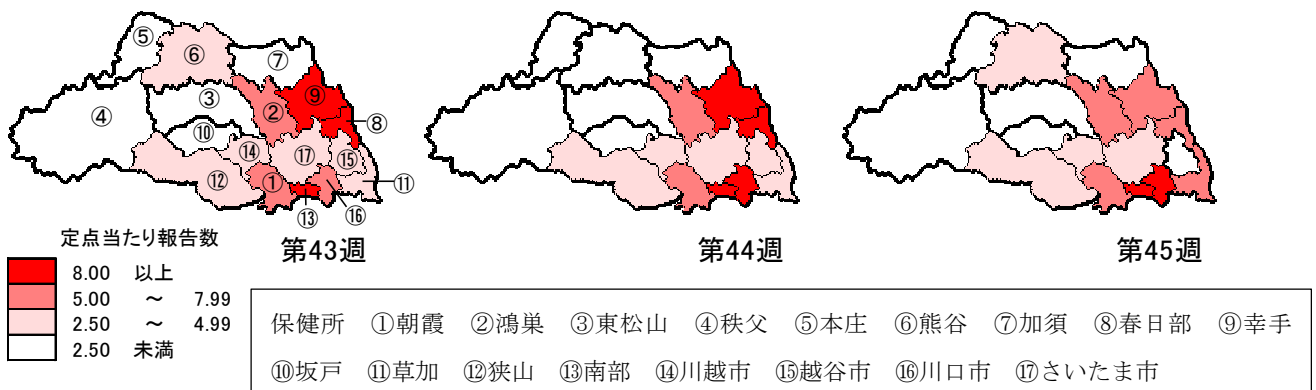


図 4-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移 (第 43 週～第 45 週)



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第45週)

(2023年11月14日 15:45集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		3
細菌性赤痢		8	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	2	148			
四類感染症					
E型肝炎		36	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムボックス		5	日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症	1	1	ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	97
つつが虫病		2	レプトスピラ症		
デング熱	1	8	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	2	27	侵襲性肺炎球菌感染症	2	66
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		7	水痘(入院例に限る)	1	12
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	60	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		5	梅毒	12	410
急性脳炎	1	33	播種性クリプトコックス症		6
クリプトスポリジウム症			破傷風		3
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	7	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6	44	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群	2	24	百日咳	2	71
ジアルジア症		3	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		9	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2023年10月分)

2023年10月の届出総数は、患者34人、無症状病原体保有者16人の計50人であった。前月と比べると、患者数は減少し、無症状病原体保有者数は増加した。過去1年と比較して、患者数は減少し、無症状病原体保有者数は同水準であった。推定感染地域は国内31人、国外1人、不明18人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2022年10月～2023年10月)

	2022年*			2023年											
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計**	
総計	64	59	47	73	61	72	63	63	67	57	59	62	50	627	
年齢階級															
10歳未満	2	0	1	1	1	1	4	2	4	1	1	0	0	15	
10歳代	2	0	1	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	8	
20歳代	7	3	3	9	4	6	7	3	7	14	5	6	3	64	
30歳代	4	5	3	5	6	7	10	5	1	1	3	2	3	43	
40歳代	4	3	1	5	3	10	3	2	5	2	1	3	2	36	
50歳代	8	9	9	8	5	7	4	8	6	5	5	10	5	63	
60歳代	6	6	3	8	11	6	9	8	8	9	5	10	10	84	
70歳代	14	14	12	17	13	14	10	11	12	14	19	7	10	127	
80歳代	12	13	12	16	16	14	11	18	17	7	16	17	15	147	
90歳以上	5	6	2	2	2	6	4	6	6	3	4	6	1	40	
性															
男	41	39	34	46	32	40	45	35	38	38	40	40	29	383	
女	23	20	13	27	29	32	18	28	29	19	19	22	21	244	
類型															
患者	41	40	34	51	44	47	35	46	35	47	49	49	34	437	
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疑似症患者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
無症状病原体保有者	23	19	13	21	16	25	28	17	31	10	10	13	16	187	
病型															
肺結核	28	28	29	34	30	31	24	29	27	37	35	38	28	313	
肺結核及びその他の結核	6	3	0	7	6	3	3	6	5	3	7	2	2	44	
その他の結核	7	9	5	10	9	13	8	11	4	7	7	9	4	82	
疑似症患者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
無症状病原体保有者	23	19	13	21	16	25	28	17	31	10	10	13	16	187	
推定感染地域															
国内	35	39	22	42	43	46	44	38	41	27	37	42	31	391	
国外	2	2	5	8	4	3	3	3	3	11	5	4	1	45	
不明	27	18	20	23	14	23	16	22	23	19	17	16	18	191	

*:2022年の届出数は暫定値

** :2023年1月からの累積届出数

10月に診断された50人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計28人の報告があり、60歳代以上が19人で67%を占めた。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2023年10月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	28	2	4	0	16	50
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	0	0
10歳代	0	0	0	0	1	1
20歳代	2	0	0	0	1	3
30歳代	2	0	0	0	1	3
40歳代	1	1	0	0	0	2
50歳代	4	0	0	0	1	5
60歳代	2	0	1	0	7	10
70歳代	6	0	1	0	3	10
80歳代	10	1	2	0	2	15
90歳以上	1	0	0	0	0	1

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第45週

11月6日~11月12日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数 5,822	428	5	623	815	818	27	114	1	40	12	10	1	35	-	1	-	-	-	-	7	27
	22.31	1.64	0.03	3.80	4.97	4.99	0.16	0.70	0.01	0.24	0.07	0.06	0.02	0.83	-	0.08	-	-	-	-	0.58	2.25
朝 霞	報告数 456	32	-	66	117	73	2	21	-	2	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	4	7
	19.83	1.39	-	4.40	7.80	4.87	0.13	1.40	-	0.13	-	-	-	0.75	-	1.00	-	-	-	-	4.00	7.00
鴻 巣	報告数 615	38	-	28	77	51	1	5	-	3	-	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*	*
	32.37	2.00	-	2.33	6.42	4.25	0.08	0.42	-	0.25	-	-	-	0.67	*	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 249	13	-	1	7	21	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	31.13	1.63	-	0.20	1.40	4.20	-	1.40	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数 101	4	-	18	2	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-
	20.20	0.80	-	6.00	0.67	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数 84	14	-	2	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	12.00	2.00	-	0.50	-	-	-	0.75	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.00
熊 谷	報告数 258	19	-	45	31	16	1	16	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	19.85	1.46	-	5.63	3.88	2.00	0.13	2.00	-	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
加 須	報告数 120	14	-	-	6	1	1	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	12.00	1.40	-	-	1.00	0.17	0.17	0.33	-	0.17	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	1.00
春 日 部	報告数 341	16	1	22	43	72	2	10	-	1	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	34.10	1.60	0.17	3.67	7.17	12.00	0.33	1.67	-	0.17	-	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 461	41	1	36	70	9	4	4	-	3	-	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*
	32.93	2.93	0.11	4.00	7.78	1.00	0.44	0.44	-	0.33	-	0.11	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 201	28	-	5	7	29	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	20.10	2.80	-	0.83	1.17	4.83	-	0.33	-	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
草 加	報告数 415	39	-	58	61	77	4	7	-	-	-	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*	*
	21.84	2.05	-	4.83	5.08	6.42	0.33	0.58	-	-	-	-	-	0.67	*	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 674	65	-	46	62	61	2	4	-	2	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1
	26.96	2.60	-	2.88	3.88	3.81	0.13	0.25	-	0.13	-	0.13	-	1.40	-	-	-	-	-	-	-	1.00
南 部	報告数 221	12	2	33	63	64	-	2	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
	27.63	1.50	0.40	6.60	12.60	12.80	-	0.40	-	0.60	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	5.00
川 越 市	報告数 302	9	-	13	25	13	-	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	21.57	0.64	-	1.63	3.13	1.63	-	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 260	23	1	36	16	43	3	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	20.00	1.77	0.13	4.50	2.00	5.38	0.38	0.88	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
川 口 市	報告数 402	30	-	116	130	128	1	13	-	8	3	5	-	6	-	-	-	-	-	-	1	1
	20.10	1.50	-	8.92	10.00	9.85	0.08	1.00	-	0.62	0.23	0.38	-	1.50	-	-	-	-	-	-	1.00	1.00
さいたま市	報告数 662	31	-	98	98	160	6	11	1	10	7	-	1	12	-	-	-	-	-	-	1	2
	15.40	0.72	-	3.50	3.50	5.71	0.21	0.39	0.04	0.36	0.25	-	0.11	1.33	-	-	-	-	-	-	1.00	2.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

11月 14日 15:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第45週 11月6日～11月12日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
インフルエンザ #1	5,822	15	53	127	172	223	275	352	336	404	419	365	1,385	473	228	365	329	154	78	48	21		
新型コロナウイルス感染症	428	3	5	8	5	5	4	3	5	5	5	4	21	20	59	56	54	50	42	44	30		
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～								
RSウイルス感染症	5	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-								
咽頭結膜熱	623	3	12	63	87	94	117	90	58	49	23	10	9	2	6								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	815	-	1	12	27	66	82	82	122	126	81	79	108	10	19								
感染性胃腸炎	818	5	39	103	90	91	101	73	63	61	42	31	79	9	31								
水痘	27	2	-	1	2	3	1	2	2	4	3	2	5	-	-								
手足口病	114	1	2	24	26	20	18	8	8	2	-	2	-	-	3								
伝染性紅斑	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
突発性発しん	40	-	5	28	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
ヘルパンギーナ	12	-	-	6	1	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-								
流行性耳下腺炎	10	-	-	1	1	-	1	1	1	1	2	1	1	-	-								
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～			
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-			
流行性角結膜炎	35	-	-	1	2	3	-	1	2	-	1	1	-	2	3	11	4	1	-	-	3		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～						
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-						
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
インフルエンザ(入院)	7	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1						
新型コロナウイルス感染症(入院)	27	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	2	2	1	1	18						

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第43週 (10月23日～10月29日)

令和5年11月15日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(51.46)、埼玉県(33.08)、山梨県(29.56)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は529例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(20例)、1～9歳(194例)、10代(70例)、20代(15例)、30代(10例)、40代(16例)、50代(18例)、60代(30例)、70代(62例)、80歳以上(94例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(7.08)、長野県(6.39)、山梨県(4.56)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,074例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(14例)、1～9歳(22例)、10代(11例)、20代(9例)、30代(20例)、40代(29例)、50代(52例)、60代(119例)、70代(287例)、80歳以上(511例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(0.57)、北海道(0.27)、長崎県(0.23)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福岡県(6.94)、沖縄県(5.81)、佐賀県(5.22)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(8.05)、宮崎県(5.94)、埼玉県(4.96)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(7.89)、香川県(7.86)、福井県(6.28)である。手足口病の定点当たり報告数は第40週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(2.45)、福井県(2.24)、佐賀県(2.17)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.12)、山形県(0.11)、静岡県(0.09)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第40週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は高知県(1.00)、熊本県(0.74)、大分県(0.56)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮城県(0.13)、千葉県(0.09)、鹿児島県(0.08)である。

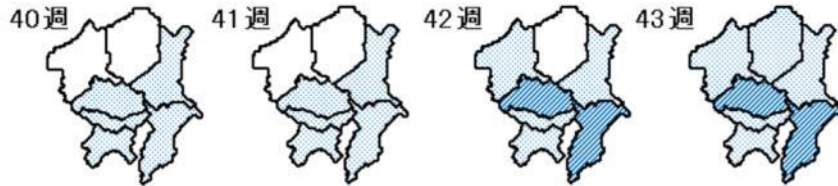
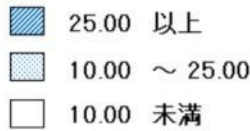
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は青森県(0.33)、福井県(0.33)、富山県(0.20)、香川県(0.20)、奈良県(0.17)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告は減少し、今週の報告はなかった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第43週(10月23日～10月29日): 通巻第25巻 第43号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県(33.08)、千葉県(29.25)からの報告が多い。

インフルエンザ



2023年 43週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 97,292	35,986	2,339	1,114	1,426	8,633	5,937	8,282	8,255
	定点当たり 19.68	23.60	19.49	14.66	16.39	33.08	29.25	19.91	22.80
新型コロナウイルス感染症	報告数 14,125	3,503	345	234	351	727	478	764	604
	定点当たり 2.86	2.30	2.88	3.08	4.03	2.79	2.35	1.84	1.67
RSウイルス感染症	報告数 238	38	6	3	1	17	-	4	7
	定点当たり 0.08	0.04	0.08	0.06	0.02	0.10	-	0.02	0.03
咽頭結膜熱	報告数 7,635	2,083	120	69	65	466	280	686	397
	定点当たり 2.43	2.17	1.60	1.44	1.20	2.84	2.22	2.63	1.70
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 9,611	3,578	212	112	89	814	565	1,115	671
	定点当たり 3.05	3.72	2.83	2.33	1.65	4.96	4.48	4.27	2.88
感染性胃腸炎	報告数 10,488	3,291	205	73	217	685	428	962	721
	定点当たり 3.33	3.42	2.73	1.52	4.02	4.18	3.40	3.69	3.09
水痘	報告数 317	94	9	5	5	20	10	31	14
	定点当たり 0.10	0.10	0.12	0.10	0.09	0.12	0.08	0.12	0.06
手足口病	報告数 2,697	849	41	63	75	142	114	184	230
	定点当たり 0.86	0.88	0.55	1.31	1.39	0.87	0.90	0.70	0.99
伝染性紅斑	報告数 53	21	1	-	-	1	1	14	4
	定点当たり 0.02	0.02	0.01	-	-	0.01	0.01	0.05	0.02
突発性発しん	報告数 681	194	14	13	17	36	23	49	42
	定点当たり 0.22	0.20	0.19	0.27	0.31	0.22	0.18	0.19	0.18
ヘルパンギーナ	報告数 545	91	8	4	4	14	15	25	21
	定点当たり 0.17	0.09	0.11	0.08	0.07	0.09	0.12	0.10	0.09
流行性耳下腺炎	報告数 109	45	1	1	2	5	11	13	12
	定点当たり 0.03	0.05	0.01	0.02	0.04	0.03	0.09	0.05	0.05
急性出血性結膜炎	報告数 9	3	-	-	-	3	-	-	-
	定点当たり 0.01	0.01	-	-	-	0.07	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数 578	222	19	5	7	37	26	44	84
	定点当たり 0.83	1.06	1.12	0.42	0.50	0.88	0.74	1.13	1.65
細菌性髄膜炎 #2	報告数 7	2	-	-	-	1	-	1	-
	定点当たり 0.01	0.02	-	-	-	0.08	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数 18	3	-	-	1	-	1	-	1
	定点当たり 0.04	0.03	-	-	0.11	-	0.11	-	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数 23	6	2	-	-	1	1	2	-
	定点当たり 0.05	0.07	0.15	-	-	0.08	0.11	0.08	-
クラミジア肺炎 #3	報告数 -	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり -	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 -	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり -	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

感染症発生動向調査
2023年

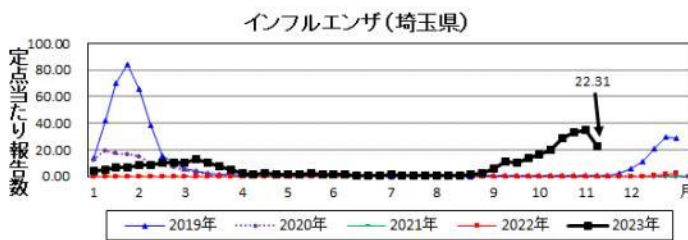
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第17週](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2022年](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2021年](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第21週](#)

感染症の流行状況 2023年 第45週

2023年第45週（11月6日～11月12日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週より減少しましたが、依然として多い状況が続いています。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★★	手足口病	↓	★
新型コロナウイルス感染症	↓	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	↑	★★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	↑	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	→	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コハトン